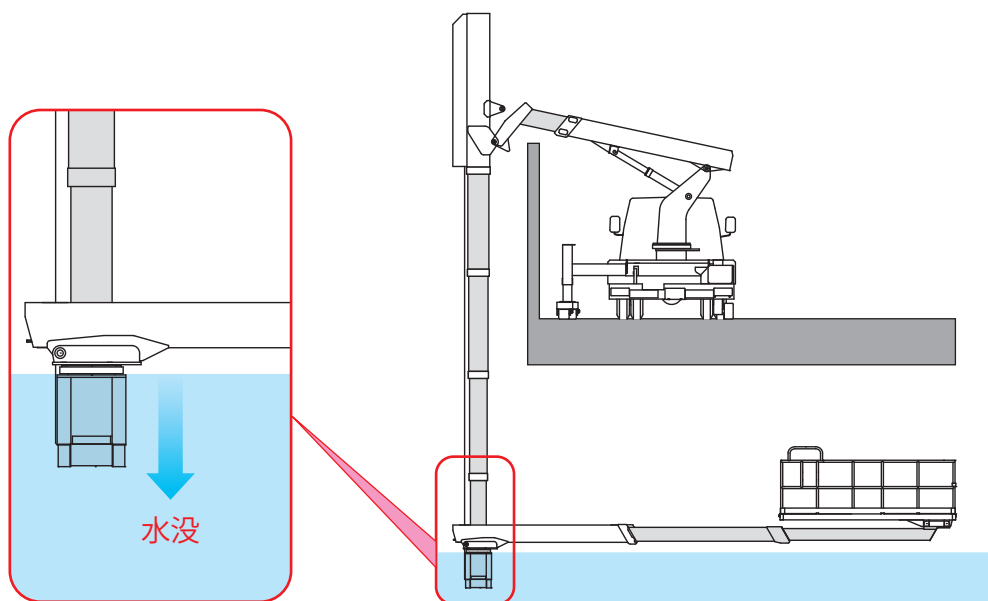


ポスト部の点検について

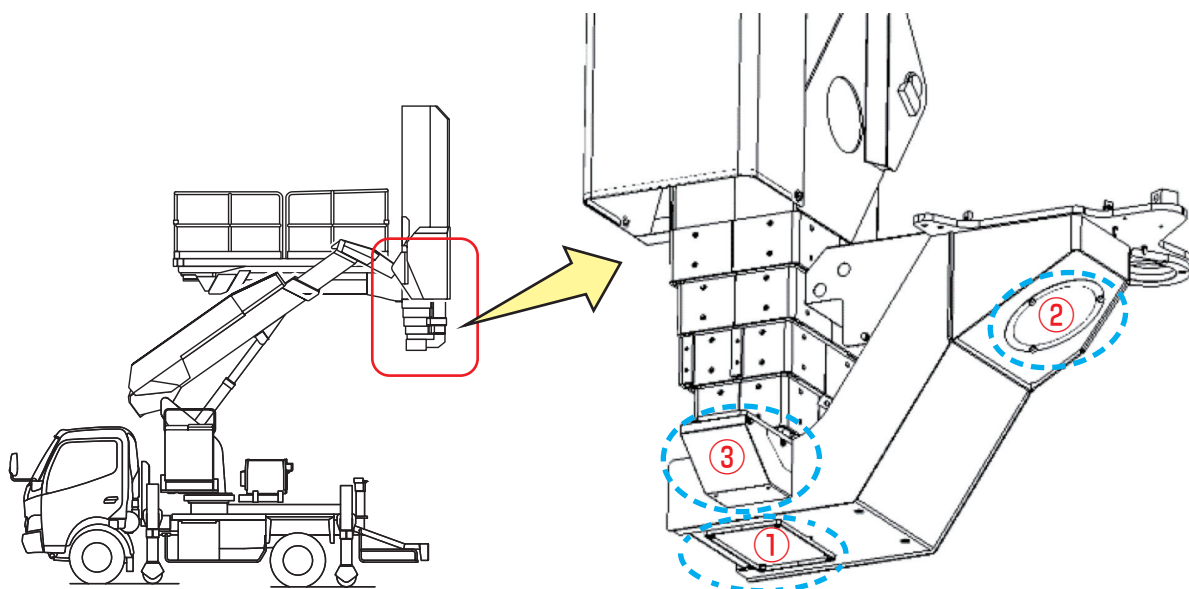
高架道路・橋梁点検車（製品型式：BT-200）において、作業中のポスト先端部の水没などにより、ポスト先端下部に著しい錆・腐食が発生し、ポスト先端部が折損する事故が発生しました。特に、海水や汽水域において水没させた場合は塩分の影響により、錆による腐食が進行し、そのままの状態で使用すると重大事故につながるおそれがあり大変危険です。定期検査において、確実な点検および整備の実施をお願いします。



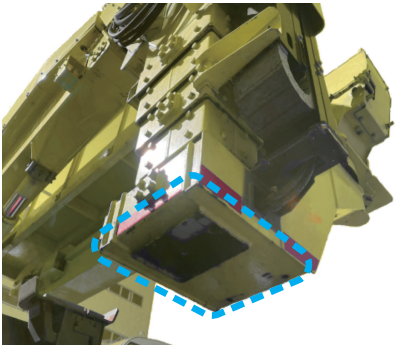
※作業時に水没した場合は、直ぐに水で洗い流すなどして洗浄し、点検を行ってください。

■点検方法（代表例：BT-200）

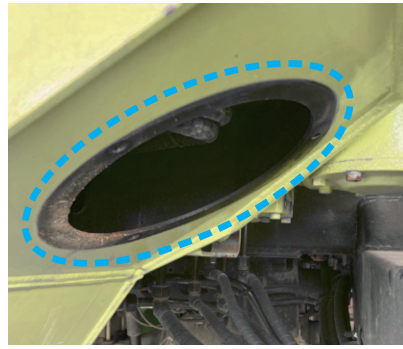
- (1) アウトリガを設置し、ポスト先端下部・水平ブーム・デッキ下部が点検できる状態にして、損傷・錆・傷などの異常有無について確認する。
- (2) 各カバーを外し、内部の錆・腐食、損傷の有無を確認する。
- (3) ポスト先端下部の水抜き穴部を確認し、周辺の清掃をする。



①ポスト下面部カバー



②フレーム部カバー



③ケーブル部カバー



ポスト先端下部の内側部 (BT-200)
(②フレーム部カバーより)



ポスト先端下部 (BT-100・BT-110)
開口部の目視点検



※BT-400についてはBT-200等と構造が異なるが、バスケット部が最下部になることからバスケット下部および第4ブームを点検する。

■点検基準および処置

- (1) 軽微な表面の錆・傷。部材の腐食進行や損傷が無い場合 ⇒ 表面を補修し、防錆処置を行う。
- (2) 著しい腐食(叩くと崩れる)や部材に深い傷や損傷がある場合 ⇒ 損傷部の補修もしくは部品交換等の修理を行う。

【著しい錆・傷の例】

ポスト先端下面



ポストシリンダ部



メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成